

ISSN 1880-8867



**BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY**

弘前学院大学

看護紀要

第8巻

Volume 8

2013

目 次

＜総 説＞

わが国での認知症ケアの問題と今後の課題

- 厚生労働省における認知症対策指針を踏まえた考察 — …………… 菅 原 大 輔 1
小 野 綾

＜研究報告＞

- 臨地実習指導者の「看護実践の役割モデル」の認識と指導行動との関連 …………… 渡 部 菜穂子 11
一 戸 とも子

在宅看護実習における、看護学生の実習経験・評価に関する分析

- 実習記録からみた、訪問看護ステーション実習の学習効果 — …………… 松 尾 泉 25
高 田 まり子

チーム基盤型学習（TBL）を導入した小児看護学演習の

- 学習方法に対する学生の評価 …………… 齋 藤 美紀子 35
齋 藤 史 恵

- 看護総合臨床実習（成人）における学生の学び …………… 畠 山 禮 子 47
福 岡 裕美子
新 田 純 子
工 藤 映 子
木 村 紀 美

看護総合臨床実習の地域看護学領域における学生の学び

- 実習記録の分析から — …………… 川 村 泰 子 53
松 尾 泉
高 田 まり子

＜そ の 他＞

わが国のハンセン病対策に人々はどう関わったか

- 皇室の慈善事業と宗教団体の視点から — …………… 加賀谷 紀 子 65

弘前学院大学看護紀要投稿規程

1. 投稿資格：投稿は、連名者も含めて、1) 本学の専任教員 2) 非常勤講師 3) 本学の学生（研修生・研究生を含む） 4) 紀要委員会が認めた者とする。
2. 原稿の種類：原稿は、総説・原著・研究報告・その他のいずれかであり、原稿にそのいずれかを明記する。いずれも、未発表のものに限る。
3. 倫理：人および動物が対象である研究は、大学倫理委員会の決定を遵守して、倫理的に配慮された研究でなければならない。その旨を本文中に明記する。
4. 投稿手続き：1) 投稿原稿は、審査のため3部（うち2部はコピーでもよい）を提出する。2) 受理後の最終原稿は、本文をMS-Wordあるいはテキストファイル形式で作成し、印刷媒体3部（うち2部はコピーでもよい）および電子媒体に保存したもの、あるいはE-mail^{注1)}で提出する。
5. 原稿の受付および審査：1) 投稿原稿の受付期間は前もって紀要委員会より通知する。また郵送による場合は、期限当日の消印有効とする。2) 投稿原稿の採否は紀要委員会および紀要委員会が依頼した査読者（学外を含む）による査読を経て、紀要委員会が決定する。3) 紀要委員会の審査により、原稿の修正、削除、加筆および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。4) 原稿の掲載順、印刷の様式は紀要委員会が決定する。
6. 執筆要領：原稿は、A4横書きとする。
 - 1) 論文には表紙をつけ、論文表題、英文表題（すべて大文字）、著者名（ローマ字とも）、所属機関名（英名字とも）、図、表および写真等の数、希望する原稿の種類、投稿者の連絡先（住所、電話、FAX、E-mailアドレス）を記入する。
 - 2) 論文には400字程度の和文要旨と250語以内の英文要旨を添え、日本語および英語のキーワードを4語ずつ加える。
 - 3) 外来語はカタカナで、外国人名、適当な日本語訳がない述語等は原語で書く。
 - 4) 略語は、初出時に正式用語またはスペルを記入する。
 - 5) 度量衡の単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 6) 英文原稿および英文要旨はネイティブスピーカーの校閲を受け、その証明を添付する。
 - 7) 図、表、写真は図1、表1、写真1等の番号をつけ、本文とは別に一括し、本文の原稿の右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。なお、カラー印刷は受け付けない。
 - 8) 引用文献
 - ①引用文献は本文中に著者名、（発行年次）、を表示する。
 - ②引用文献は著者名のアルファベット順に列記して文献には片括弧つきの番号をつける。
 - (1) 雑誌掲載論文
著者名（発行年次）、論文の表題、誌名、巻（号）、最初のページー最後のページ
 - (2) 単行書
著者名（発行年次）、書名（版数）、発行地
著者名（発行年次）、論文の表題、編者名、書名（版数）、ページー数、出版社名
 - (3) 訳本
原著者名（原著の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）翻訳書の書名（版数）、出版社名、発行地
7. 著者校正は初校のみとし、校正時の加筆は認めない。2校以降は紀要委員会が行う。
8. 別刷は30部まで無料とし、30部を超える部数については自己負担とする。

注1) 投稿先のE-mailアドレス：kango-kiyou@hirogaku-u.ac.jp

弘前学院大学 看護紀要 第8巻

2013年3月29日 印刷

2013年3月29日 発行

編集者

弘前学院大学看護学部紀要委員会

発行所

弘前学院大学看護学部

〒036-8231 弘前市稔町20-7

印刷所

やまと印刷株式会社

〒036-8061 弘前市神田4丁目4-5

BULLETIN OF FACULTY OF NURSING
HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY
Volume 8, 2013

CONTENTS

REVIEW ARTICLE

PROBLEMS IN DEMENTIA CARE IN JAPAN AND FUTURE CHALLENGES
— AN EXAMINATION BASED ON THE MHLW GUIDELINES ON MEASURES
AGAINST DEMENTIA —

Daisuke SUGAWARA 1
Aya ONO

RESEARCH REPORT

RELATIONSHIPS BETWEEN CLINICAL INSTRUCTORS'
RECOGNITION OF THE "ROLE MODEL IN NURSING PRACTICE"
AND TEACHING BEHAVIOR

Naoko WATABE 11
Tomoko ICHINOHE

ANALYSES OF EXPERIENCES AND EVALUATION OF PRACTICAL
HOME NURSING TRAINING OF NURSING STUDENTS
LEARNING EFFECTS OF PRACTICAL TRAINING AT HOME -
VISIT NURSING STATIONS SHOWN IN PRACTICE RECORDS

Izumi MATSUO 25
Mariko TAKADA

STUDENT EVALUATION OF A PEDIATRIC NURSING COURSE
THAT USED TEAM-BASED LEARNING (TBL)

Mikiko SAITO 35
Fumie SAITO

STUDENT LEARNING IN A COMPREHENSIVE CLINICAL (ADULT)
NURSING PRACTICUM

Reiko HATAKEYAMA 47
Yumiko FUKUOKA
Junko NITTA
Teruko KUDO
Kimi KIMURA

STUDENTS' LEARNING REGARDING COMMUNITY-BASED
NURSING DURING COMPREHENSIVE CLINICAL TRAINING
— ANALYSIS OF TRAINING RECORDS —

Taiko KAWAMURA 53
Izumi MATSUO
Mariko TAKADA

THE OTHERS

HOW THE JAPANESE PEOPLE HAVE DEALT WITH TAKING
MEASURES AGAINST HANSEN'S DISEASE IN JAPAN
— FROM THE PERSPECTIVE OF THE CHARITY WORK OF THE JAPANESE
ROYAL FAMILY AND SOME RELIGIOUS GROUPS —

Noriko KAGAYA 65